学校番号	２１１

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	子どもの発達と保育　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達の特性や発達過程を学習し、幼稚園交流を通して体験的・実践的活動を行います。実験・実習を通して技能を身につけると共に、現状における課題などについても考えてください。

2　学習の到達目標

・子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する関心を持ち、実践的な態度を身につける（関心・意欲・態度）
・子どもの発達の特性や発達過程、子育て支援における課題を見つけ、その解決策を構想する力を身につける（思考・判断・表現）
・保育や子育て支援に寄与する技能を身につける（技能）
・子どもの発達の特性や発達過程，保育などに関する総合的な知識を身につける（知識・理解）

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもについての関心を持ち，意欲的に学習に取り組み，子どもの発達や子育て支援に寄与していこうとする実践的な態度を身につけている。	子どもの発達をふまえ，現状について見直し，課題を見つけ，その解決を目指して思考を深め，適切に判断し，工夫し創造する能力を身につけている。	保育に関する基礎的･基本的な技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達の特性,生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	学習状況・行動の観察 ワークシートなどの記述 レポートの作成や発表・自己評価	学習状況・行動の観察 ワークシートなどの記述 レポートの作成や発表・自己評価 ペーパーテストの結果	学習状況・行動の観察 実習の技能 ペーパーテスト 実技テストの結果 グループワーク等の記述	学習状況・行動の観察 ペーパーテストの結果 ワークシートなどの記述 DVD/VTR 鑑賞 実習後の気づき・感想
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1学期	1章 子どもの発達の特性	1節 発達と乳幼児期の意義 1 子どもの発達 2 乳幼児期の特徴 ・子どもに関心を持ち，乳幼児期の意義について理解する。	○				a. 乳幼児期の子どもに関心を持ち，乳幼児期の特徴理解に主体的に取り組もうとしている。	・行動観察 ・ワークシート
		2節 発達と保育環境 1 発達と保育環境の関わり 2 保育環境を整える ・子どもの発達と保育環境の関わりについて知り、保育環境を整えることの重要性について思考を深める		○			b. 子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を与えることを理解し，発達段階における発達課題に応じて，接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート提出
		3節 児童館と発達観 1 児童観・発達観とは 2 今日の児童観・発達観 ・児童観，発達観の変遷について理解する。				○	d. 児童観と発達観の歴史的経緯を簡潔な文章でまとめている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート提出
	2章 子どもの発達の過程	1節 子どもの発育 1 胎児の発育・発達 2 乳幼児の身体的特徴 3 乳幼児の生理的特徴 4 発育の評価 ・生命の誕生について関心をもち，乳幼児の身体的特徴と生理的特徴についての知識を習得する。	○			○	a. 胎児の生育環境である母体に対する関心と課題意識を高めている。 d. 乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身に付けている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート提出 ・小テスト ・定期テスト
		2節 子どもの精神発達 1 運動機能と感覚機能の発達 2 知的発達 3 言葉の発達 4 情緒の発達 ・子どもの精神発達の特徴を学び，乳幼児期が人格形成上大切な時期であることを理解する。			○	○	c. 発達段階を踏まえて乳幼児の発育・発達を促す玩具を製作している。 d. 子どもの精神発達の特徴と発達の経過について理解している。	・行動観察 ・ワークシート ・作品提出 ・小テスト ・定期テスト
		3節 人間関係の発達 1 愛着関係の形成 2 人間関係の広がり 3 子どもの人格形成 ・人間関係の発達と子どもの人格形成について思考を深めるとともに，反抗期や子どもの行動の特徴を理解する。		○		○	b. 愛着関係形成のためには，どのような関わり方がよいか考えを説明している。 d. 反抗期における適切な関わり方を理解している。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート提出 ・定期テスト

2 学 期	4章子どもの保育	1節　保育の意義と重要性 1 保育とは 2 人間形成と保育 ・保育の意義と重 要性に関心を持つ	○				a. 子どもの保育に対する関心と課題意識を高めている。	・行動観察 ・ワークシート
		2節　家庭保育と集団発育 1 家庭保育 2 集団保育 ・家庭保育と集団保育のそれぞれの特徴や役割を知り，子どもの発達に両方が必要であることを理解する。 ・保育環境の変化を確認し，今後の保育の課題を考える。		○		○	b. 子どもの心の育ちを考えて，親の子どもへのかかわり方を説明している。 d. 集団保育の意義と形態，保育内容の要点ををまとめている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート提出 ・小テスト ・定期テスト
		3節　保育の方法 1 保育者の役割とは 2 指導のポイント ・保育実習を通して，子どもと適切にかかわる技能を身につける。			○		c. 保育実習において安全に配慮し，子どもと適切にかかわっている。保育実習の記録をまとめ，成果を発表している。	・行動観察 ・ワークシート ・作品提出 ・レポート提出 ・定期テスト
	3章子どもの生活	1節　生活と養護 1 生活と健康 2 栄養と食事 3 食習慣の形成 4 衣生活と育児用品 ・子どもの生活に関心を持ち，乳幼児の生活の特徴から，健康を保持増進し順調な成長を促すうえで，発育や発達に応じた養護が必要なことを理解する。 ・子どもの食生活が発育や発達に大きな及ぼす影響及ぼすことを理解する。 ・子どもの衣生活と育児用品について，身体特徴をふまえ，安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。	○	○	○	○	a. 子どもの生活に関心を持ち，主体的に子どもの生活を理解しようとしている。 b. 子どもの安全と快適さという視点から必要な育児用品を選択している。 c. 幼児の食事の特徴をふまえて，子どもの弁当を作っている。 d. 子どもの食生活や衣生活に関する知識を身につけている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート提出 ・レポート提出 ・定期テスト

		２節　子どもの遊び 　１生活と遊び 　２遊びの援助 ・子どもは遊びを通して発達することを理解し，遊びの援助ができるようにする。		○	○	○	b. 子どもには遊びが大切である理由を述べている。 c. 子どもの発達に合わせた玩具を選んでいる。 d. 子どもの主体性を育てる遊びの援助について理解している。	・行動観察 ・ワークシート ・作品提出 ・レポート提出 ・定期テスト
３ 学 期		３節　生活習慣の形成 　１生活習慣の意義 　２基本的生活習慣 　３社会的生活習慣慣 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解し，子どもの発達に即した適切な生活習慣について考える		○			b. 子どもが生活習慣を身につけるための援助の方法について思考を深めている。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート提出 ・定期テスト
		４節　健康管理と事故防止 　１日常の健康管理 　２病気の看病と予防 　３事故の防止と応急処置 ・子どもの健康を守るための保育者の役割と子どもの病気の特徴を知り，予防の必要性を理解する。 ・子どもの事故の特徴を知り，事故防止と安全教育にかかわろうとする意欲を育てる。	○	○			a. 子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴，予防接種についての知識を身につけてる。 b. 子どもにおこりやすい事故を予測し，対策を考えている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート提出 ・定期テスト
	５章子どもの福祉	１節　子どもの福祉 　１児童福祉の理念 　２児童福祉に関する法律 　３児童福祉のための機関・施設 ・子どもの福祉に関心を持ち，児童福祉の理念や法律と制度について理解する。	○			○	a. 子どもの幸せとは何かを考えている。 d. 児童福祉六法や児童福祉のための制度を一覧表にまとめている。	・行動観察 ・ワークシート ・ノート提出 ・レポート提出 ・定期テスト
		２節　子育て支援 　１社会的支援の必要性 　２児童虐待とその予防 　３これからの子育て支援 　４子育て支援の課題題 ・子育て支援の意義と現状を理解し，今後の課題と展望を考える。		○			b. 児童虐待の現状と対策について自分の考えを述べている。子育ての現状をふまえて，これからの子育て支援を考えている。	・行動観察 ・ワークシート ・レポート提出 ・定期テスト

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　＊は，ワークショップ，実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。